

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成27年4月2日 (2015.4.2)

【公開番号】特開2015-36381(P2015-36381A)

【公開日】平成27年2月23日 (2015.2.23)

【年通号数】公開・登録公報2015-012

【出願番号】特願2014-18816(P2014-18816)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/19 (2006.01)

A 6 1 K 8/365 (2006.01)

A 6 1 Q 19/00 (2006.01)

A 6 1 K 33/00 (2006.01)

A 6 1 P 17/00 (2006.01)

A 6 1 P 17/16 (2006.01)

A 6 1 K 8/73 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 8/19

A 6 1 K 8/365

A 6 1 Q 19/00

A 6 1 K 33/00

A 6 1 P 17/00

A 6 1 P 17/16

A 6 1 K 8/73

【手続補正書】

【提出日】平成27年2月4日 (2015.2.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

発泡性皮膚外用剤を得るためのキットであって、第一剤が酸性物質、前記酸性物質と反応して炭酸ガスを発生する炭酸ガス発生物質、及び増粘剤を含有する組成物であり、第二剤が水及び多価アルコールを含有する組成物であることを特徴とするキット。

【請求項 2】

第一剤が固体状の組成物であることを特徴とする、請求項 1 に記載のキット。

【請求項 3】

第一剤の酸性物質と炭酸ガス発生物質が、互いに接触しないように共存することを特徴とする、請求項 1 又は 2 のいずれかに記載のキット。

【請求項 4】

第一剤の酸性物質及び / 又は炭酸ガス発生物質がコート層を有する請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載のキット。

【請求項 5】

第二剤が、液状の組成物であることを特徴とする、請求項 1 に記載のキット。

【請求項 6】

第一剤と第二剤とを 1 : 0 . 1 ~ 1 : 3 0 の範囲の重量比で混合し、使用することを特徴とする請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載のキット。

